

令和6年度 学校評価 山南中学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の 目標・方針	地域に誇りを持ち豊かな人生を切り拓く生徒の育成 ～ふるさと山南の教育資源（ひと・もの・こと）を生かし、2校（旧山南中、旧和田中）の伝統をつなぎ、それらをひろげ、新たな価値をつくりだす力を育む～
本年度の重点目標	①すべての生徒が安心して学び、生活できる居場所づくり ②生涯学び続けるための基盤となる力の育成 ③教職員の組織力向上と業務改善、人材育成 ④地域資源を生かしたキャリア教育の推進

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	生徒指導	・対話を重視し、生徒の内面理解に基づく指導 ・組織的で人権を基盤とした指導	B	・毎月開催する職員会議や毎週開催する生活指導委員会において生徒の情報を共有し、学級担任や学年団を中心にすべての教職員で指導、支援にあたった。 ・指導にあたっては対話を重視し、生徒の理解・納得を図りながら問題の根本的な原因の解消に向けて対応した。 ・いじめや問題行動については組織的な対応を充実させ、事案の未然防止を図るとともに、早期発見・即対応に努めた。 ・不登校傾向等、学校内に居場所をつくりづらい生徒については、校内サポートルームを活用したり、市教育支援センターと連携したりしながら、安心して過ごせる環境づくりに努めるとともに、社会的自立に向けての支援をすすめた。卒業後の進路を見据えた支援を充実させたい。
	保護者・地域住民との連携	・学校運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりの推進 ・地域資源（ひと・もの・こと）を生かしたキャリア教育の推進	B	・定期的に学校運営協議会を開催し、委員の方々と学校運営や生徒の様子を共有し、よりよい学校の在り方について協議した。また、行事や地域活動への生徒の参画にあたって助言や支援を受けることができた。 ・1年生の総合的な学習の時間には、昨年度に続き地域資源を生かした学習に取り組んだ。また、今後の山南町の在り方について、まとめたことを発信することができた。
教育課程	指導方法の工夫改善	・各種調査結果に基づく基礎基本の確実な定着に向けた指導の充実、探求型授業の展開 ・生徒自身が自らの課題を解決するための学びを計画し実行する力の育成	B	・調査結果により課題が見られる国数英については、授業及び朝学習時間を通して日常的に基礎基本の定着に努めた。また、3年生については、放課後の学習タイムを活用した補充学習にも取り組んだ。 ・探求型授業については、取り組む教科、場面（単元）の拡大が今後の課題である。 ・研究指定を生かし、目標を設定して計画的に学習に取り組む習慣の定着に努めている。生涯学び続ける力の育成に向け、本研究を深化させたい。
課題教育	人権教育	・生徒が主体的に取り組むよつば学級を核とした人権学習の推進 ・いじめ、暴力を許さず、不登校を生まない風土の醸成	B	・全校生徒の中から41人の有志が集まり、よつば学級を運営した。市内中学校の人権交流集会や岡山渋染一揆資料館での学習等を通して、人権感覚を高めることができた。また、学習成果を文化祭で発信することができた。 ・いじめ暴力ゼロ強化月間での取組等を通して、生徒会が中心となって全校生徒が安心して過ごせる学校づくりに努めた。今後もいじめを許さない風土の醸成に努めたい。

3 学校関係者評価

- （統合前は不安なこともあったが）先生方が生徒一人ひとりを大切に丁寧に指導していると感じている。
- いじめ事案や大きな問題行動事案を聞くことがない。今後も未然防止や事後指導等に、教職員が一丸となって取り組んでほしい。
- 地域行事に生徒たちはよく関わっている。今後も機会を提供したい。しかしながら、保護者の参加は少ないように感じている。運営側として関わる保護者も限られている。保護者への啓発が今後の課題（保護者の姿勢を子どもは見ている）である。
- ふるさとの資源を生かした学習等、教科の学習以外のことを見聞きする機会を充実してほしい。
- 登下校時に他地域（他小学校区）の生徒も挨拶をするようになってきている。
- 自分で考えて行動する、学習する習慣を身につける取組を、今後もすすめてほしい。
- 生徒の多く（97%）がいじめや暴力のない学校にしたいと感じており、うれしいことである。逆に3%の生徒がどう考えているのかも踏まえて指導にあたってもらいたい。

4 次年度の改善の方向性

- 旧山南中学校、旧和田中学校が大切にしてきた人権を基盤とする学校風土をよき伝統とし、すべての生徒がいじめや暴力を許さず、安心・安全に過ごせる学校づくりに継続して取り組む。
- 生徒が自分たちで目標を設定し、その目標の達成に向けて主体的・協働的に取り組む力を育む。学習面はもちろんのこと、学校行事や生徒会活動、部活動等に対しても、取組を拡大する。また、課題解決型授業の実践に取り組む。
- 教職員のメンタルヘルスの維持向上、超過勤務時間の縮減等、働き方改革は喫緊の課題である。計画的年休の取得や自己研鑽等を推奨、充実しながら、教職員のワークライフシナジーの実現に向けて取り組む。
- 学校運営協議会を軸に、保護者、地域や関係機関との信頼関係を強化するとともに、地域資源（ひと・もの・こと）を生かしたキャリア教育を充実させる。

令和7年3月10日

学校名
校長名

丹波市立山南中学校
岸田 孝広